

たくれアートプロジェクト



アトリエでの活動が大好きなところっこ保育園の子どもたち
好きなこと、得意なことに没頭する楽しさを存分に味わってほしい
そんな思いから始まった「たくれアートプロジェクト」
園での活動が終わろうとしている夕方のひと時に、穏やかな時間が流れます

描画



描画は、実物を観察することから始まります。
見て、触れて、匂いを嗅いで、時にはちょっぴり味見もして、五感をふるに
使って感じたことを表現してほしいからです。
この日は調理室からりんごを1つもらいました。冷蔵庫から出したばかり
のりんごを手にして「冷た〜い」と笑みがこぼれ、「おいしそう」「いいにおい」
「みどり(色)が多いね」たくさんの発見があります。

たくれアートは、できるだけ少人数で子どもとの対話を大切にしながら行
っています。パレットに何色の絵の具を出すか？ということから、大人が事前
に用意したり指導したりするのではなく、子ども自身に1つ1つ 選択して
もらいながら、子どもが気付いたことや感じたことに寄り添って進めています。
そんな風に、自分で選択したことを認められる事が、考える力や自己肯定感を
育てていくと考えています。



ところっこ畑で採れた
栗でもさっそく描画をしました！！



◆混色

混色も描画の楽しみのひとつです。

「茶色ってどうやって作るの？」と言っていた子に「好きな色を混ぜてみたら？」と伝
えると、赤と緑を混ぜました。偶然にも茶色に近い色になると、やる気に火がついて本
物とにらめっこ。「まだ全然違う。」「もう少し白を入れてみよう…赤も入れる。黄色も
…」と時間をかけて理想の茶色を作っていました。

違う色になってしまったら、もう一度やり直せばいい。少し時間がかかっても、答え
は子ども自身に探してもらいます。



色々な技法

道具を使った絵の具あそびも積極的に行っています。トイレト
ーパーの芯やペットボトルの底、スポンジや綿棒など、身の回り
のものから生まれる偶然の形は、雨やシャボン玉、お花、花火、い
ろいろなものに変化して、子ども達の世界が広がります。



同じ道具を使っても表現はさまざまです。
同じ所に重ねて花火にする子、画用紙一面に花を
咲かせる子、イメージするものが違うのは面白い
ですね。



始めたばかりのプロジェクトですが、子ども達の豊かな感性に驚かされてばかりです。これからも、いろいろなア
ートを楽しんでいこうと思っています。